

国における生涯学習について

国における生涯学習は、当初、社会教育や成人教育を中心に学習機会の提供や施設整備を通じて推進されてきましたが、様々な検討の過程を経て「生涯いつでも自由に学びを選択し、多様な場で行われるあらゆる学習」として捉えられるようになりました。

近年では、人生100年時代や社会の多様化、デジタル化の進展などを背景に、学び直しを含めて誰もが主体的に学び続けられる環境づくりが重視されています。

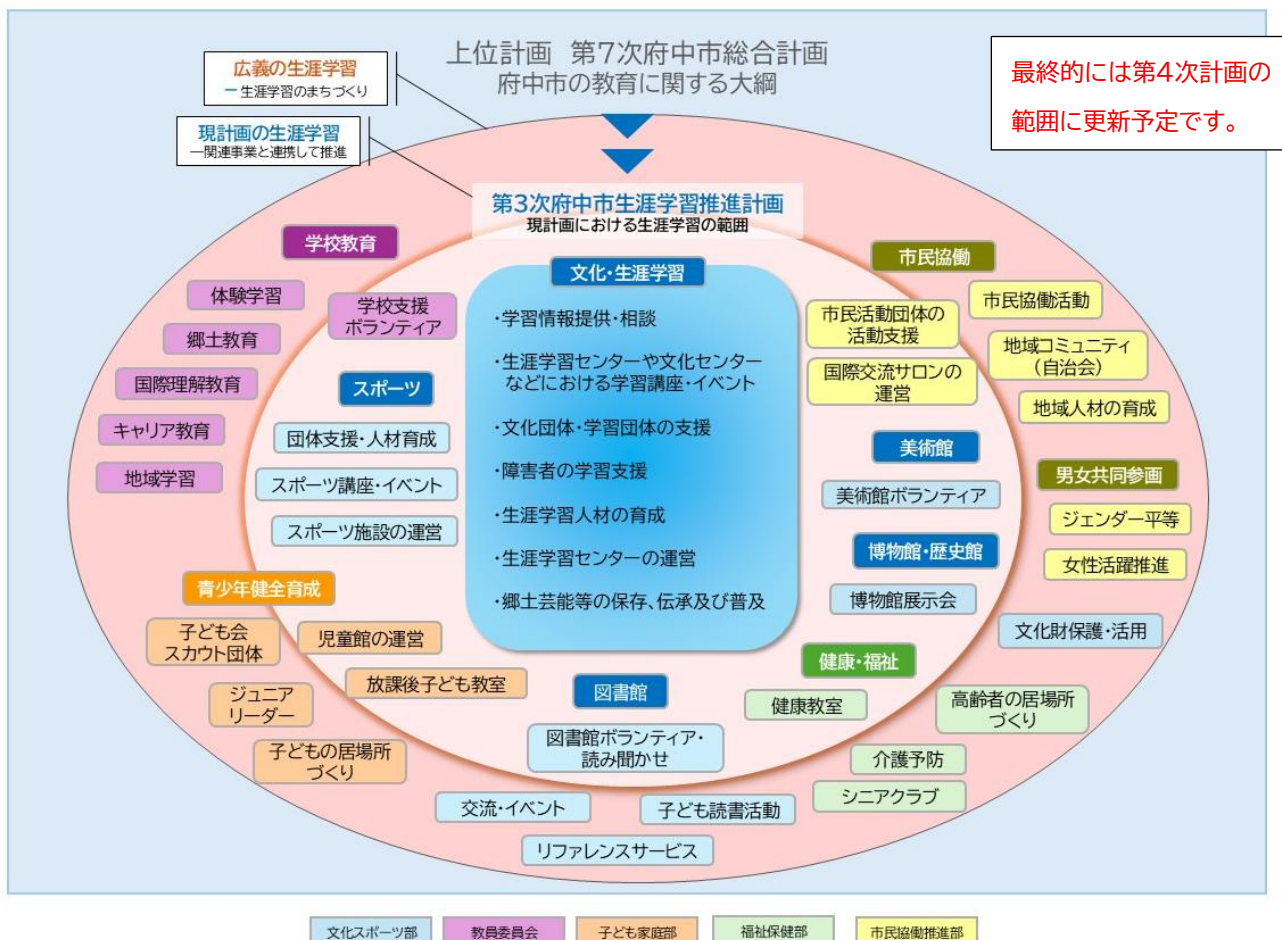
このように、生涯学習においては、自分らしく豊かに生きること（ウェルビーイング*）や社会的包摂の実現、地域の持続性を支える基盤としての意義が一層高まっています。

*第11回中央教育審議会生涯学習分科会におけるウェルビーイングの説明

「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、一人一人の可能性が最大限に引き出され、一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもある」状態

府中市における生涯学習事業の範囲

府中市では、全庁体制での生涯学習を基本としつつ、本計画が主として取り扱う生涯学習事業の範囲をおおむね次のように捉え、計画を策定するものとします。



府中市の生涯学習の捉え方

前提の考え方

第7次府中市総合計画では、「多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち」を生涯学習分野の基本目標に掲げています。

時代の変化に対応しながら、様々な背景を持つ市民が共に生きる社会を目指して、生涯学習分野においても、「多様性・公平性・包摂性」の3つを重視していく必要があります。

また、これまで本市が進めてきた市民協働を基盤とした共に学びあえる環境が求められています。

●多様性・公平性・包摂性とは●

- ・多様性とは、一人ひとり違いや個性があること。
- ・公平性とは、それぞれの状況に応じた配慮により、だれもが機会を持てるようにすること。
- ・包摂性とは、だれもが排除されることなく、認め合い、活躍できる状態のこと。

生涯学習においては、年齢や性別、障害の有無、国籍、生活環境などにかかわらず、だれもが自分に合った学びに出会い、安心して学び、活躍できることを意味します。

ニーズの拡大と役割の変化

また、第12期中央教育審議会生涯学習分科会の議論にもあるように、人生100年時代の社会においては、生涯を通して一人ひとりの学ぶ時期や進路が複線化し、生涯にわたって学び続ける時代に移行していると言われています。

こうした背景を踏まえ、生涯学習へのニーズは多様化し、学びの果たす役割は変化しています。

例えば、人生を幸せに過ごすための学び、リスキリング*などキャリアアップにつながる学び、人と人がつながるきっかけとなる学び、地域の活動を通して信頼を深め共に育む学びなどが挙げられます。

このように、一人ひとりの成長や充実につながる学びから地域や社会を支える学びまで、多岐に渡る学びの機会の重要性が高まっています。

*リスキリング:企業が主体となり、仕事や職業上で必要なスキルの大幅な変化に適応するために、新たに必要なスキルを学ぶこと。

まちの機能の集約化

その一方で、日本の人口は 2006 年をピークに減少に転じており、これまで人口減少の影響を受けてこなかった本市においても、公共施設の再編やネットワーク化、行政サービスの適正化・効率化を前提に、学びの環境についても、持続的に維持・充実させることが求められています。

推進方向

生涯学習ニーズの拡大と、行政サービスの適正化・効率化の二局面の課題を解決していくためには、本市がこれまで築き上げてきた生涯学習資源（機会、人材、ネットワーク等）を、市民、地域コミュニティ及び企業が協働し、「主体的な役割を担う」という認識のもと、共に守り育て続けていくことが求められます。

■すべての取組の根底に多様性、公平性、包摂性があること。

■これまで築き上げてきた生涯学習資源を守り育て続けること。

■市民、地域コミュニティ及び企業が主体的役割を担う学びヘシフトすること。

基本目標（案）



本計画では、これまで府中市が市民と共に培ってきた生涯学習の取組の成果や、「学び返し」の理念を大切に継承していきます。

その上で、前項に示した「生涯学習の捉え方」を踏まえ、多様な主体が学びを支え合い、より良いまちをつくることを目指して、次のとおり基本目標を掲げます。

基本目標（案）

学びでつながり 共に成長するまち 府中 ～気軽に楽しく 多様な学びのコミュニティ～

本計画では、基本目標の実現に向け、すべての人が生涯にわたり多様な学びに親しみ、学びを通じて人と人、地域へとつながりが広がることを重視します。

また、一人ひとりがその人らしい幸せを実感できる生涯学習を推進します。

少子高齢化の進行や社会構造の変化により、地域社会のあり方や行政サービスを取り巻く環境は変化しています。

こうした中、生涯学習は人づくりや地域づくりを支えるものとして、その重要性が高まっています。

そのため、市民や地域コミュニティ、民間主体など多様な人々が主体的に学びに関わり、学び合い、支え合いながら、新たなつながりや価値を生み出す「多様な学びのコミュニティ」の形成を推進します。

あわせて、誰もが気軽に参加し、楽しく学び続けられる環境づくりを進めることも重要です。

楽しさから広がる学びが日常に根づき、一人ひとりが学びを通じて共に成長し、地域がつながることで、活力のあるまちを目指します。